

2022年3月期 第2四半期 決算説明会資料



株式会社オーブドア
(証券コード：3926)

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

■ 新型コロナウイルス感染拡大による影響

- 新型コロナ新規感染者数は8月下旬に過去最高となったものの、その後は徐々に減少に転じ9月下旬からはさらに減少率が大きくなり、10月には新規感染者数が8月比▲97.0%まで減少、今後この状況が続けば国内旅行需要は11月以降に急激な回復が見込まれる

* 5ページ「新型コロナウイルス感染拡大による影響」参照

■ 2Q実績

【累計期間（4月～9月）】

- 売上高 **529百万円**（前期2Q比 **+15.2%**、前々期2Q比 **▲81.0%**）
- 営業利益 **▲395百万円**（前期2Q実績 **▲470百万円**、前々期2Q実績 **987百万円**）
- 新型コロナ新規感染者数が8月下旬に過去最高となり引き続き大きな影響は受けているものの、売上高、営業利益はともに前期2Qを上回り着地

■ 2022年3月期 業績予想

- 新型コロナ新規感染者の減少が維持されれば国内旅行市場は今後急激な回復が期待できるが、まだ不確実な要素はあるため、2022年3月期の業績予想については現時点で引き続き『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表
- 新規感染者の減少を前提に、国内旅行においては11月以降、海外旅行においては来年以降顕著な需要の回復が見込まれる
- 現在Go To トラベルキャンペーンの再開も検討されている
- 当社では国内旅行需要が2019年同月比で7割程度に回復すれば海外旅行需要の回復がなくても月次での黒字化も見通せる状況
- 引き続き開発スピードを高め、回復期の需要を取り込み、さらなるサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2022年3月期2Q：自己資本比率 89.5%、現預金残高 約31億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

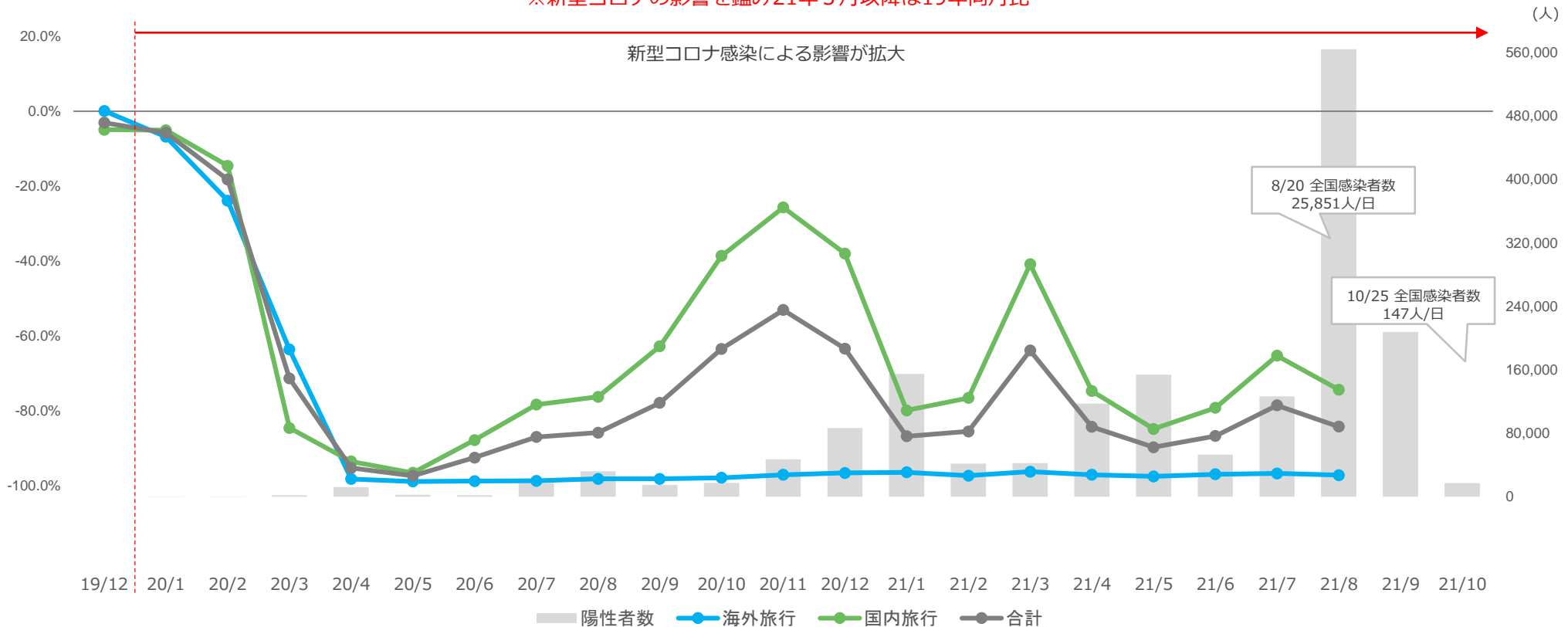
新型コロナウイルス感染拡大による影響

- 新型コロナ新規感染者数は8月下旬に過去最高となったものの、その後は徐々に減少に転じ9月下旬からはさらに減少率が大きくなり、10月には新規感染者数が8月比▲97.0%まで減少、今後この状況が続けば国内旅行需要は11月以降に急激な回復が見込まれる

※ グラフの「合計」は当社にて主要旅行業者の海外旅行と国内旅行の総取扱額を合算し算出

主要旅行業者 総取扱額の前年同月比推移 と 月別新規陽性者数推移

※新型コロナの影響を鑑み21年3月以降は19年同月比



出典：観光庁「主要旅行業者の旅行取扱状況速報」をもとに当社作成
厚生労働省 新型コロナウイルス感染症 オープンデータ 新規陽性者数の推移(日別)をもとに当社作成

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
- 3. 第2四半期 業績概要**
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

2022年3月期 第2四半期 業績概要（会計期間）

- 売上高は新型コロナ新規感染者数が8月下旬に過去最高となり大きな影響を受け着地
- 前期は7月からGo To トラベルキャンペーンが開始
- 当期は7月から9月にかけて、大都市圏を中心に緊急事態宣言が発出され人流が抑制
- コストは当期1Qと同程度で推移
- 営業利益は当期1Qに比べ赤字幅が縮小

単位：百万円

	2021/3 (前期) 2Q(会) 実績	2022/3 (当期) 2Q(会) 実績		増減額	前年同期比	2022/3 (当期) 1Q(会) 実績	前Q比	2020/3 (前々期) 2Q(会) 実績	前々年 同期比
売上高	341	296	-45	-13.2%	232	+27.5%	1,489	-80.1%	
売上原価	154	162	+8	+5.4%	163	-0.2%	165	-1.5%	
売上総利益	187	133	-53	-28.5%	69	+92.1%	1,323	-89.9%	
販売費及び一般管理費	312	293	-18	-5.9%	305	-3.7%	895	-67.2%	
営業利益	-124	-160	-35	-	-235	-	428	-	
経常利益	-80	-126	-46	-	-196	-	429	-	
当期純利益	-83	-127	-43	-	-197	-	266	-	
営業利益率	-	-	-	-	-	-	28.8%	-	

2022年3月期 第2四半期 業績概要（累計期間）

- 新型コロナ新規感染者数が8月下旬に過去最高となり引き続き大きな影響は受けているものの、売上高、営業利益はともに前期2Qを上回り着地

単位：百万円

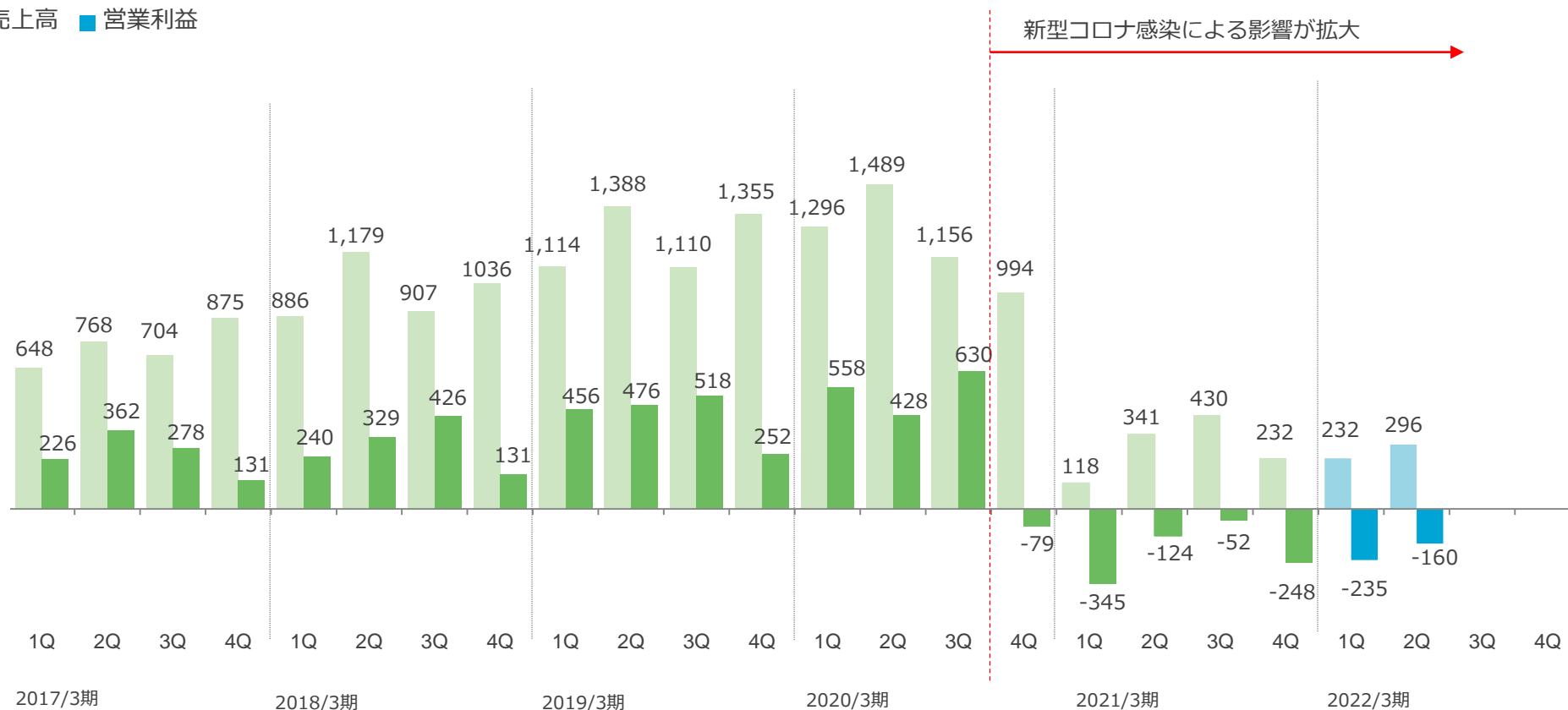
	2021/3 (前期) 2Q(累) 実績	2022/3		2020/3 (前々期) 2Q(累) 実績	前々年 同期比
		(当期) 2Q(累) 実績	増減額		
売上高	459	529	+69	2,785	-81.0%
売上原価	314	325	+11	330	-1.4%
売上総利益	145	203	+58	2,455	-91.7%
販売費及び一般管理費	616	599	-17	1,467	-59.2%
営業利益	-470	-395	+75	987	-
経常利益	-421	-323	+97	988	-
当期純利益	-445	-324	+120	615	-
営業利益率	-	-	-	35.4%	-

2022年3月期 第2四半期 業績概要 / 四半期業績推移

- 新型コロナウイルス感染拡大長期化により大きな影響を受け、売上トレンドは例年と大きく異なる

単位：百万円

■ 売上高 ■ 営業利益



1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

■ 2022年3月期 業績予想

新型コロナ新規感染者の減少が維持されれば国内旅行市場は今後急激な回復が期待できるが、まだ不確実な要素はあるため、2022年3月期の業績を適正かつ合理的に予測することが難しい状況である

そのため、2022年3月期の業績予想については現時点において『未定』とし、合理的な予測が可能となった時点で公表

■ 新型コロナウイルスによる今後の影響と当社方針

新規感染者の減少を前提に、国内旅行においては11月以降、海外旅行においては来年以降顕著な需要の回復が見込まれる

現在Go To トラベルキャンペーンの再開も検討されており、当社では国内旅行需要が2019年同月比で7割程度に回復すれば海外旅行需要の回復がなくても月次での黒字化も見通せる状況であり、財務基盤も強固である

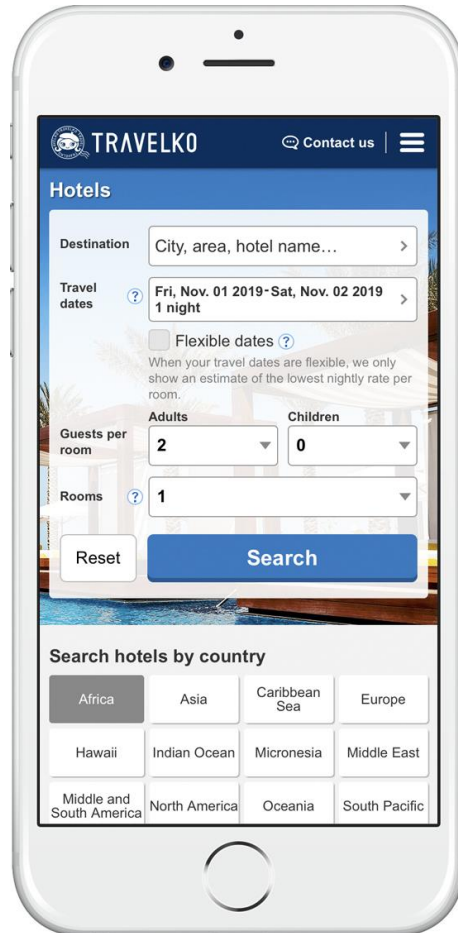
これら状況を踏まえ引き続き開発スピードを高め、回復期の需要を取り込み、さらなるサービスの拡充及び競争力の強化を図る

※ 2022年3月期 2Q：自己資本比率 89.5%、現預金残高 約31億円

1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2022年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料



- 需要回復期における市場ニーズに対応したプロモーション
- 既存メニューのリニューアル及び機能強化
- 新規連携の強化による商品情報の拡充
- 国内及び海外の人気スポットなどの観光情報拡大
- 各メニューのクチコミ・評価サービス拡充
- 横断比較サービスのメニュー拡大
(民泊・旅行保険・アウトドアなど)



- 新型コロナ関連情報の強化
- 現地大手サイトとの連携強化による価格優位性の確立
- ユーザーインターフェース
ローカライゼーション強化
- アプリ版TRAVELKOオープン
- 観光情報の拡充

今後の主な取り組み予定 / リニューアル及び機能強化の具体例

年度内に30件以上、1年以内に70件以上のリリースを予定

最近・近日中のリリースの一例

国内ホテル

- ・地域割に対応した施設及び各予約サイト毎の予約方法を表示（公開済）※1
- ・プラン毎のキャンセル規定詳細表示（近日公開予定）※2
- ・絞り込み機能のリニューアル（近日公開予定）
- ・GoToトラベル再開時の対応も準備中



国内航空券

- ・絞り込み機能、表示項目、デザイン等の全面リニューアル（近日公開予定）



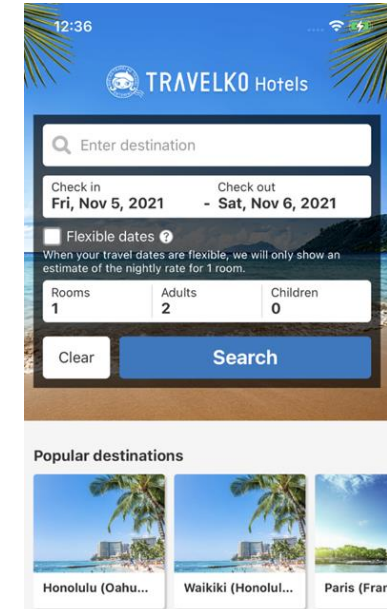
遊び・体験

- ・催行会社別リスト表示（公開済）



TRAVELKO（海外版トラベルコ）

- ・海外及びインバウンド市場向け TRAVELKOのネイティブアプリ（近日公開予定）



1. ハイライト
2. 新型コロナウイルス感染拡大による影響
3. 第2四半期 業績概要
4. 2021年3月期 業績予想
5. 今後の主な取組み予定
6. 参考資料

2022年3月期 第2四半期 / 貸借対照表

- 自己資本比率89.5%で高い水準を維持
- 現預金残高は3,162百万円
- 新型コロナの影響を受けるも投資有価証券の含み益により純資産残高は6,425百万円に増加

単位：百万円	2021/3末 実績	2021/9末 実績	増減額
流動資産	3,706	3,429	-277
現金及び預金	2,918	3,162	+244
その他	788	266	-521
固定資産	2,989	3,741	+752
資産合計	6,696	7,171	+475
流動負債	117	141	+24
固定負債	368	604	+235
負債合計	485	745	+260
純資産合計	6,210	6,425	+215
資本金	648	648	-
資本剰余金	473	473	-
利益剰余金	4,366	4,041	-324
その他	722	1,262	+540
負債純資産合計	6,696	7,171	+475

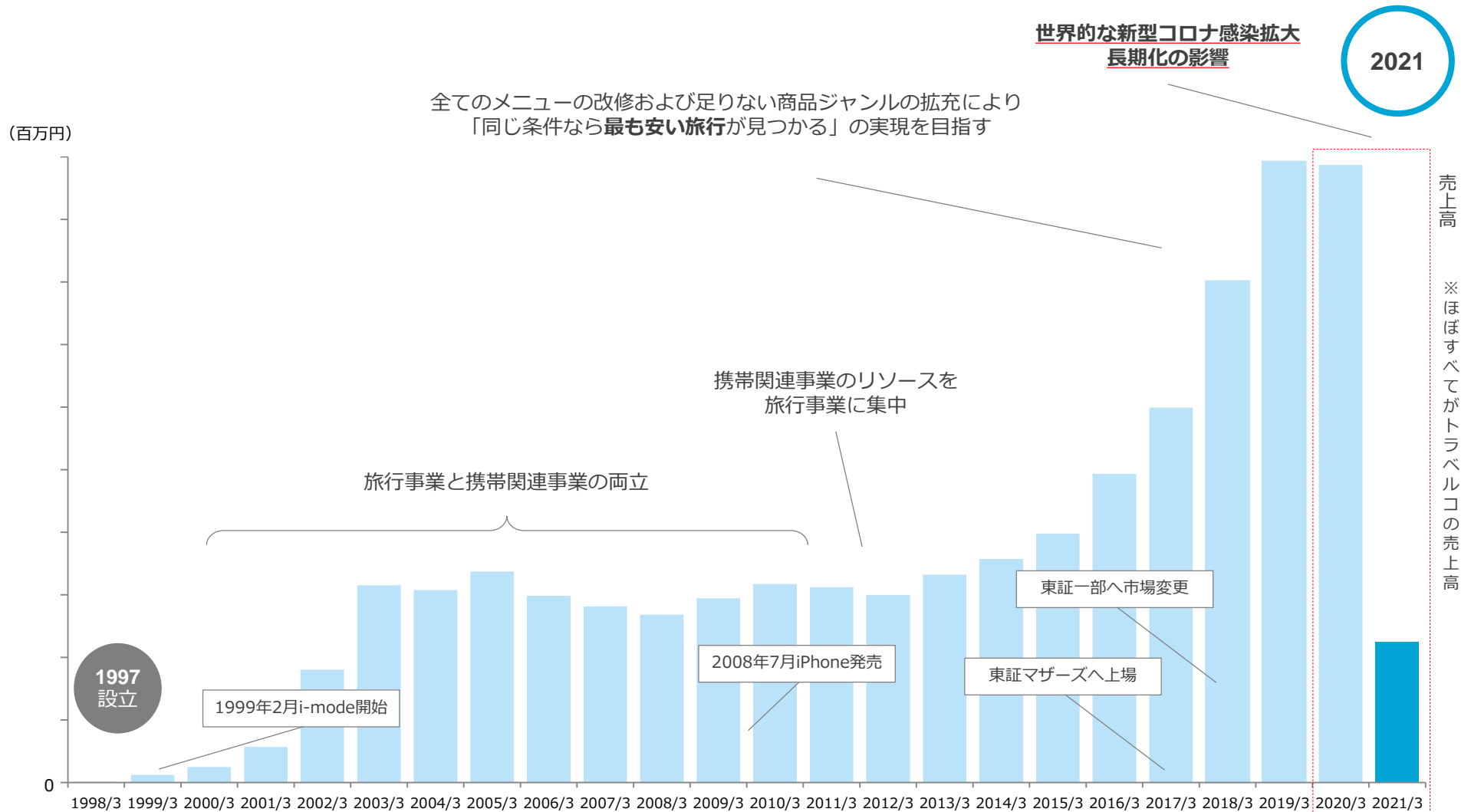
- コストは前期2Qと同程度

単位：百万円	2021/3		2022/3			
	2Q(累) 実績	売上比	2Q(累) 実績	増減額	前期比	売上比
売上原価	314	68.3%	325	+11	+3.7%	61.5%
労務費	233	50.7%	227	-5	-2.4%	43.0%
その他	81	17.7%	98	+17	+21.3%	18.6%
販売費及び一般管理費	616	134.0%	599	-17	-2.8%	113.1%
人件費	377	82.2%	400	22	+6.0%	75.6%
広告宣伝費	34	7.6%	31	-3	-9.5%	6.0%
その他	203	44.3%	167	-36	-17.9%	31.6%

- 現金及び現金同等物の9月末残高は3,162百万円

単位：百万円	2021/3 2Q(累) 実績	2022/3 2Q(累) 実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	-666	+258	税引前当期純利益 ▲323百万円 法人税等の還付額 +441百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	-6	-13	有形固定資産の取得による支出 ▲12百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	-	-0	—
現金及び現金同等物の増減額	-672	+244	—
現金及び現金同等物の期首残高	5,650	2,918	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,978	3,162	—

会社名	株式会社オーブンドア
設立	1997年4月
代表者	代表取締役社長 関根 大介
資本金	648百万円
上場取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード：3926）
事業内容	旅行比較サイト「トラベルコ」 多言語旅行比較サイト「Travelko」 伝統工芸品紹介サイト「GALLERY JAPAN」「KOGEI JAPAN」の運営
連結子会社	ホテルスキップ株式会社 出資比率100% ホテル・航空券の予約、手配、販売
従業員数	連結191名



1,500以上の旅行サイトの商品を比較・検索できる旅行比較サイト

理想の旅を、いちばん安く。
トラベルコ
TRAVELKO

運営会社：株式会社オープンドア(東証一部)
初めての方へ よくある質問 メルマガ

不具合・要望
予約サイトでのトラブル

国内 ホテル ▼ 航空券 ▼ ツアー ▼ その他 ▼ 海外 ホテル ▼ 航空券 ▼ ツアー ▼ その他 ▼ 旅行ガイド他 ▼ 履歴 お気に入り (0)

JTB、HIS、一休.com、楽天トラベル、Expedia、Booking.comなど、
国内外1,500以上の旅行サイトを比較！

プレスリリース 2020年 オリコン顧客満足度調査「航空券」「ホテル」「ツアー」比較サイト全3分野で第1位を獲得

国内旅行		海外旅行	
国内ホテル	国内格安航空券	海外オンライン体験ツアー 自宅に居ながら 海外旅行が味わえる	
国内ツアー	国内航空券+ホテル	海外ホテル	海外格安航空券
新幹線+ホテル	国内レンタカー	海外ツアー	海外航空券+ホテル
夜行バス・高速バス	遊び・体験	オプションツアー	海外Wi-Fiレンタル
日帰りバスツアー	ファイナルコール	ファイナルコール	ファイナルコール

LINE スタンプ 販売中!
全40種類!ご購入はこちらから

オフラインでも使えるトラベルコマップ

いろいろなトラベルコちゃんが登場!

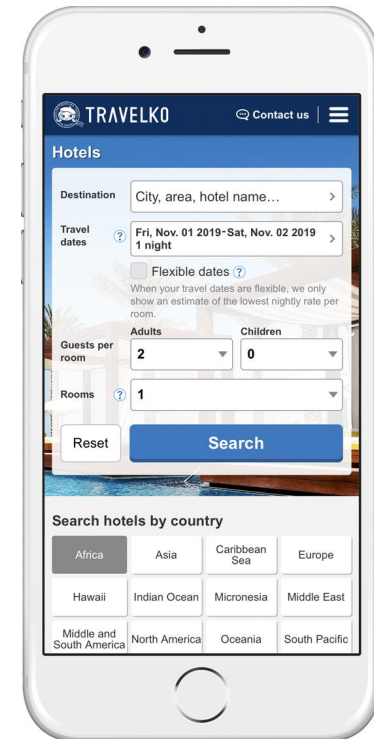
トラベルコの旅行比較をアプリでも!



海外及びインバウンド市場をターゲットとした海外版トラベルコ

The desktop interface features a search form with the following fields and options:

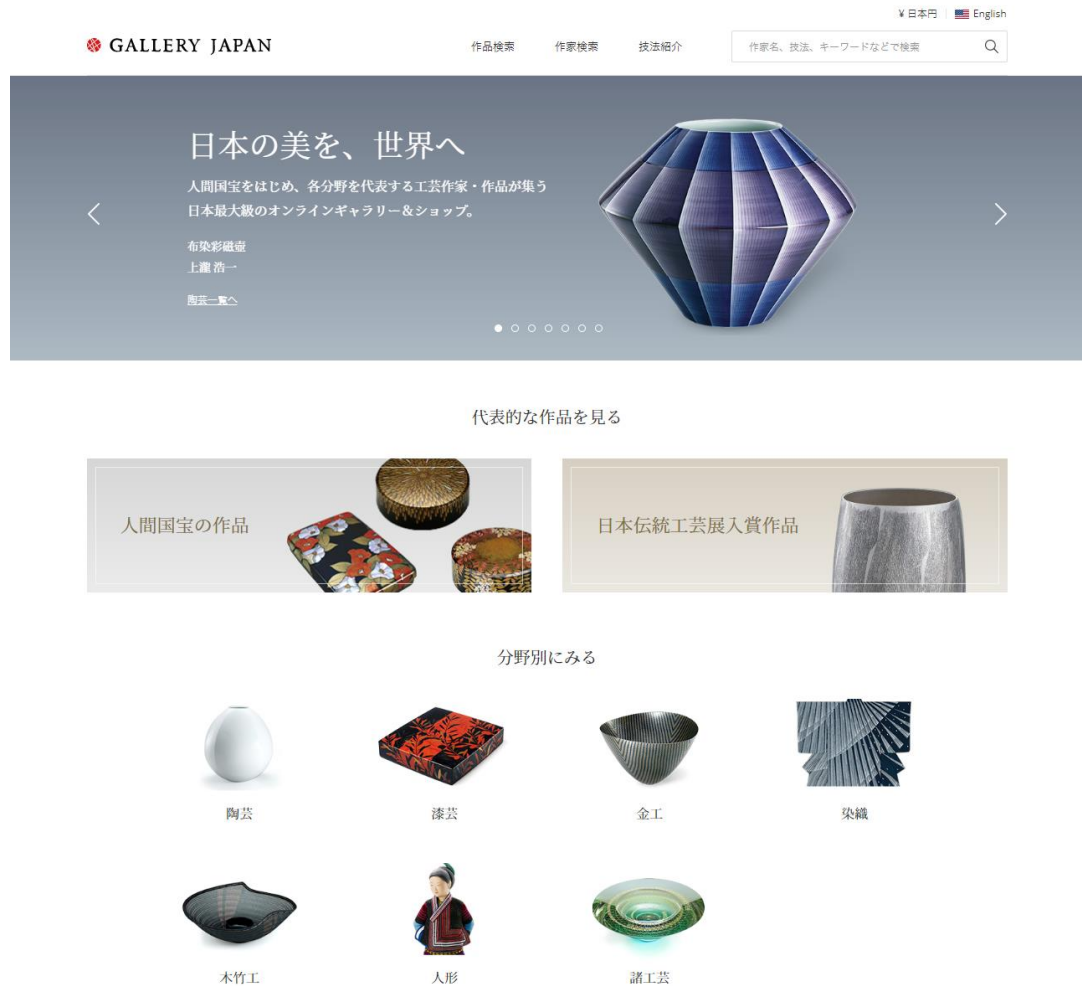
- Language and Currency:** English, USD, Recent searches.
- Navigation:** About Us, Travel providers, Contact us.
- Search Form:**
 - Destination: City, area, hotel name...
 - Check in: Thu, Sep. 03 2020; Check out: Fri, Sep. 04 2020; 1 night.
 - Flexible dates: (When your travel dates are flexible, we only show an estimate of the lowest nightly rate per room.)
 - Rooms: 1; Guests per room: Adults 2, Children 0.
 - Hotel name: [Empty field]
 - Search button.
- Travel providers:** Expedia, Booking.com, agoda, Trip.com, Rakuten Travel, YAKOSO Japan, and more.
- Search hotels by country:** A grid of 13 regional categories: Africa, Asia, Caribbean Sea, Europe, Hawaii, Indian Ocean, Micronesia, Middle East, Middle and South America, North America, Oceania, South Pacific. Each category contains a list of countries with their respective flags.



対応言語

英語
 中国簡体字
 繁体字 (台湾)
 繁体字 (香港)
 韓国語

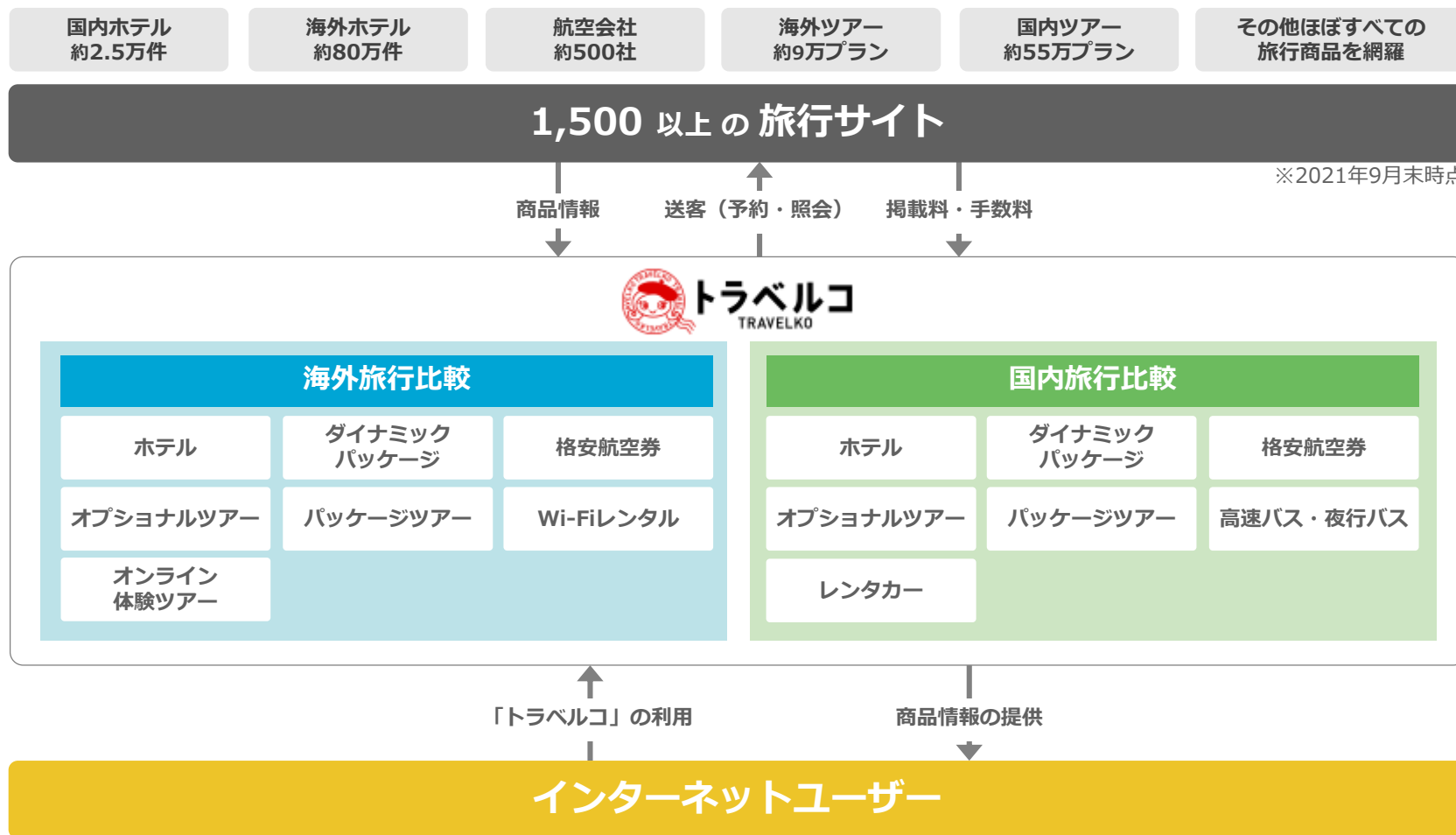
海外及びインバウンド市場をターゲットとした“伝統工芸作品”を世界へ紹介するサイト



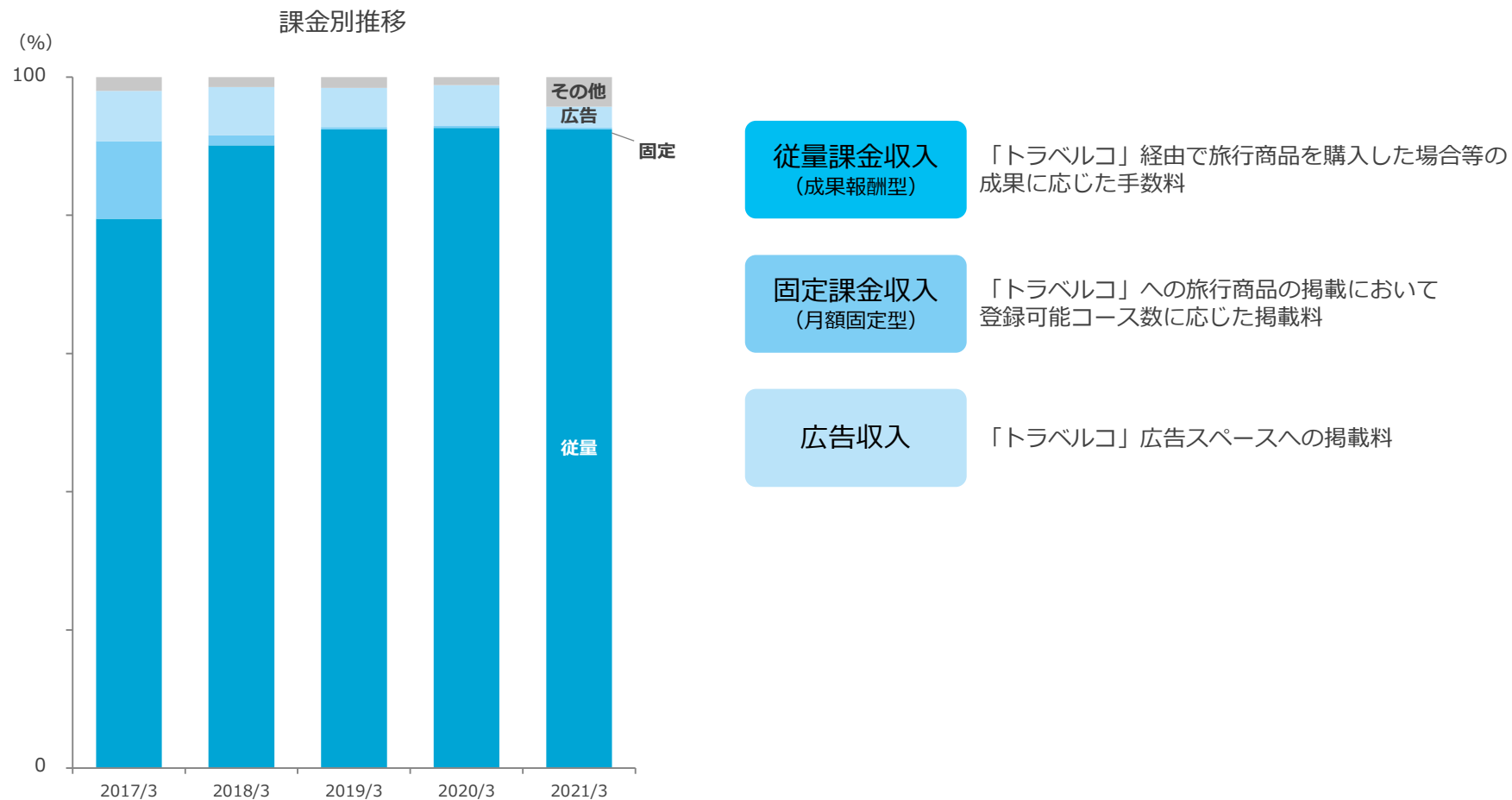
対応言語

英語
日本語

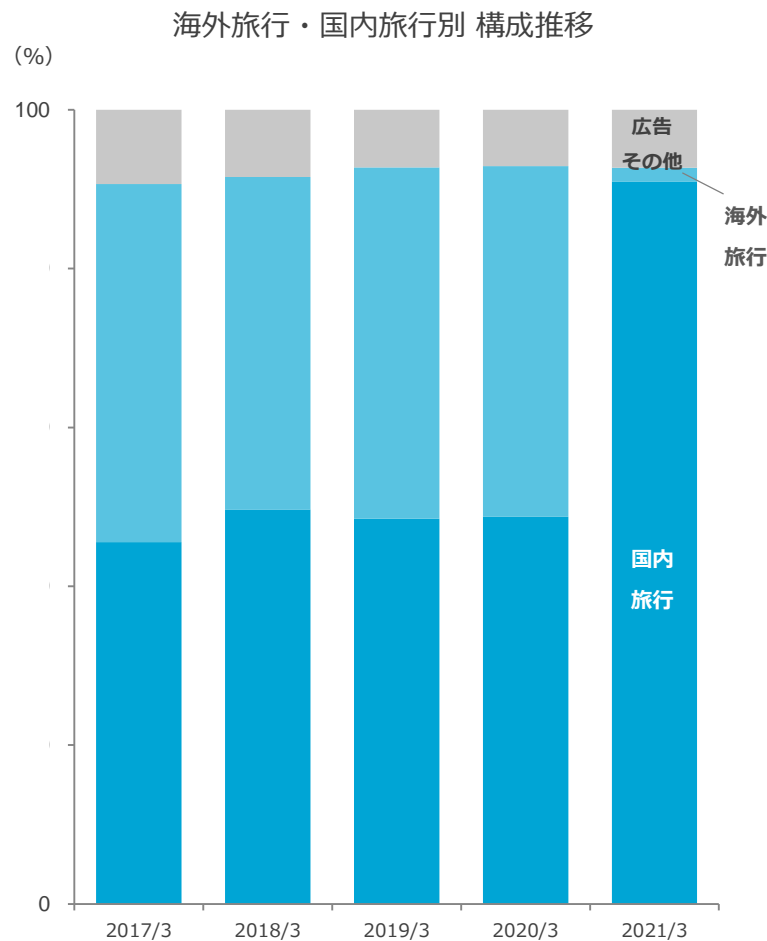
ほぼすべての旅行商品を比較できるビジネスモデル



収益モデルは成果報酬型の従量課金収入がメイン



21/3期は新型コロナの影響で国内旅行がほとんどを占める

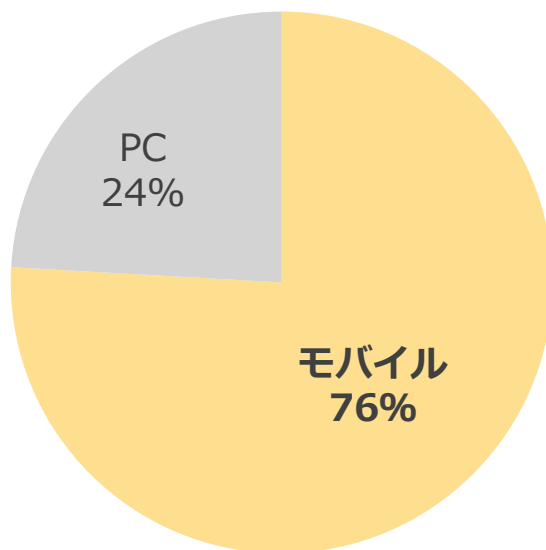


世界的な新型コロナ感染拡大の影響により
海外渡航制限が続いたことで
売上高構成割合が大きく変動

新型コロナの影響を大きく受けユーザー属性傾向の参考になりにくいため20年3月期データを使用

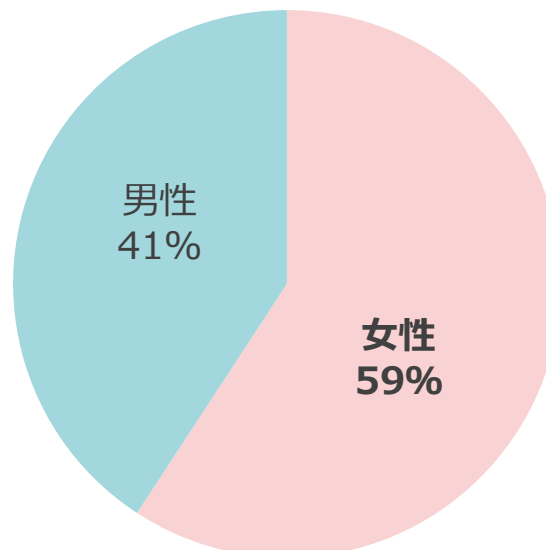
ユーザー属性※1

閲覧環境

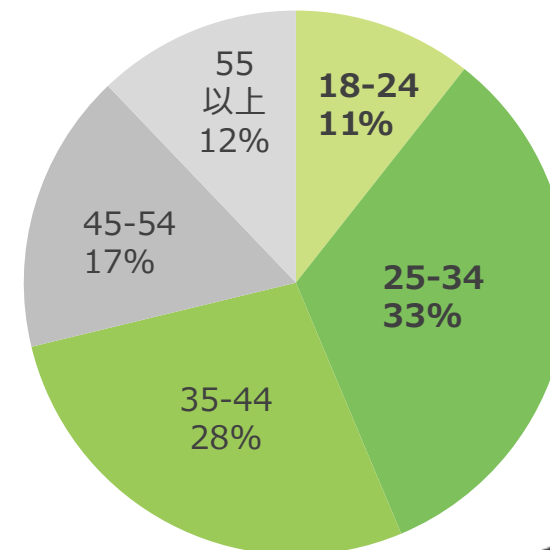


※ほぼすべてのジャンルでスマートフォン対応済

性別



年齢別



価格と内容にもっともシビアなF1層に支持されています



※1 2019/4 - 2020/3までの当社アクセス解析データ

多くの比較サイトがある中で、なぜトラベルコはこれだけ幅広いユーザーから支持を得、高い成長を維持できているのか？

1. ほぼ全ての旅行ジャンルをカバー

多くの他社がホテルだけ、航空券だけなどジャンルを絞った比較をしている中で、トラベルコは国内・海外ほぼ全ての旅行ジャンルをカバーしています。ホテル、航空券、パッケージツアー、オプションツアー、レンタカー、夜行バス、海外Wi-Fiレンタルなど。

これによりユーザーは自分の旅行をトラベルコのサイト内でワンストップで探せます。

海外旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	Wi-Fiレンタル
オンライン体験ツアー		

国内旅行比較		
ホテル	ダイナミックパッケージ	格安航空券
オプションツアー	パッケージツアー	高速バス・夜行バス
レンタカー		

2. 最も安いプラン・チケットが見つかる

比較できる旅行サイト数が1,500以上にものぼるトラベルコは、もちろん比較できるプラン数も日本最大級です。なので、同じ条件で最安値が見つかる確率は自然と高くなります。

それに加え、旅行サイト側も全ての比較サイトに同一の価格でプランを掲載しているわけではありません。より価格競争が厳しいサイトには、より安く価格を設定する場合があります。

なので、旅行サイト数が圧倒的に多く、競争率が高いトラベルコではさらに最安値が見つかりやすくなるのです。

JTB クラブツーリズム JALパック 小田急トラベル
JR東海ツアーズ 近畿日本ツーリスト 日本旅行
HIS 東武トップツアーズ 阪急交通社 ANA X
西鉄旅行 名鉄観光サービス 旅工房 ベルトラ

楽天トラベル 一休 るるぶトラベル Yahooトラベル

Expedia Booking.com agoda Trip.com

エアトリ Spring Japan スカイチケット
スターフライヤー AIRDO

…**1,500**以上の旅行サイト

なぜトラベルコはそのような強みを実現できているのか？

ほぼ全てのシステム開発を内製化

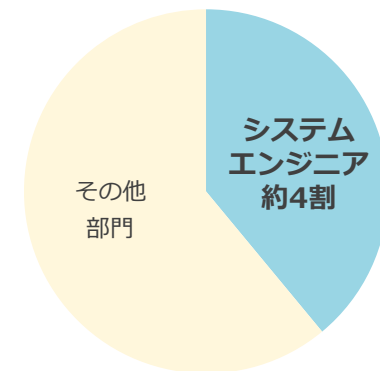
これだけ多くの旅行ジャンルをカバーし、1,500以上の旅行サイトと連携し、またそれら全てを並行して進化させていくためには、膨大かつ高度なシステムの開発が必要となります。

多くの他社は開発を外注しており、その場合、どうしても外注先のリソース、スキル、スケジュール、優先順位に左右され、自分たちの思い通りの開発はなかなか困難です。

当社は、ほぼ全てのシステムを内製で開発しており、約80名のシステムエンジニアが日々情報を共有しながら、市場トレンドに合わせ柔軟かつ効率的な開発環境を敷いています。これによりスピード感をもって、かつ高いクオリティを維持しながら並行して全ての進化を支える開発体制が実現できています。

この非常に高い開発能力も、当社の強みを実現できている大きな理由のひとつです。

全従業員に占める
システムエンジニアの割合



- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社オーブドア

本資料ならびにIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

株式会社オーブドア 管理本部

TEL : 03-5545-7215 FAX : 03-3586-8708

ホームページ : <https://www.opendoor.co.jp>